

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2011年第7週
(2月14日～2月20日)

- * 2011年2月23日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * 今週は月報告(2011年1月)の疾患及び感染症豆知識
「抗インフルエンザ治療薬」も掲載しています。

平成23(2011)年2月24日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数 2011年7週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				全国(診断週)		
		4週	5週	6週	7週	年累計	7週	年累計
一 類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二 類	急性灰白髄炎							
	結核	87	109	50	71	553	314	2,902
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *1							
	鳥インフルエンザ (H5N1)							
三 類	コレラ							
	細菌性赤痢		2			5	3	18
	腸管出血性大腸菌感染症	3	1		1	7	10	96
	腸チフス						1	1
	パラチフス	1				3		4
四 類	E型肝炎	1		2		3		7
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	2	1		3	6	6	71
	エキノコックス症					1		3
	黄熱							
	オウム病							1
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサナル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症			1		2		2
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱							3
	つつが虫病			1	1	5	2	32
	デング熱	1			1	5	2	16
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ (H5N1を除く)							
	ニバウイルス感染症							
	日本紅斑熱							
	日本脳炎							
	発しんチフス							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	ボツリヌス症							2
マラリア					1		4	
野兔病								
ライム病								
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽								
レジオネラ症	1	1		1	5	7	75	
レプトスピラ症	1				1		1	
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		4週	5週	6週	7週	年累計	7週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	1	2	3	2	18	10	98
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)	2		1		5	1	32
	急性脳炎 *2	2		1	1	6	1	55
	クリプトスポリジウム症				1	1		2
	クロイツフェルト・ヤコブ病			1	1	3		10
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	1			6	4	32
	後天性免疫不全症候群	13	3	11	6	58	15	169
	ジアルジア症		2			2	1	10
	髄膜炎菌性髄膜炎							
	先天性風しん症候群							
	梅毒	3	1		6	22	10	78
	破傷風							3
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症							4
	風しん						1	11
麻しん	3	1	4	1	15	5	59	
新型※	新型インフルエンザ *3	—	—	—				
2011/2/23集計								

*1 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

※ 新型インフルエンザ等感染症

*3 2009年4月28日に指定された。現時点では届出不要。

(全数把握対象疾患のコメント)

〈二類感染症〉

結核 71件 肺結核27件、その他の結核44件で、推定感染地は国内69件、国内及び国外2件、年齢は10歳代1件、20歳代8件、30歳代11件、40歳代12件、50歳代11件、60歳代9件、70歳代7件、80歳代10件、90歳以上2件であった。

〈三類感染症〉

腸管出血性大腸菌感染症 1件 患者。血清型・毒素型はO145(VT2)で、年齢は20歳代であった。

〈四類感染症〉

A型肝炎 3件 推定感染地は国内1件、タイ/ミャンマー1件、台湾/中国/フィリピン1件で、推定感染経路は全て飲食物による経口感染であった。

つつが虫病 1件 推定感染地は千葉県であった。

デング熱 1件 血清型は2型で、推定感染地はフィリピンである。

レジオネラ症 1件 肺炎型で、年齢は80歳代。推定感染地は国内で、感染経路はその他(不明)である。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 2件 どちらも腸管アメーバ症。推定感染地はどちらも国内で、推定感染経路は飲食物による経口感染1件、その他(不明)1件であった。

急性脳炎 1件 病原体は新型インフルエンザウイルスで、年齢は30歳代であった。

クリプトスポリジウム症 1件 推定感染地はインドで、推定感染経路は飲食物による経口感染である。

クロイツフェルト・ヤコブ病 1件 古典型CJDで、年齢は50歳代であった。

後天性免疫不全症候群 6件 無症候キャリア5件、AIDS1件。無症候キャリアの年齢は10歳代1件、20歳代2件、30歳代1件、50歳代1件、AIDS患者の年齢は20歳代1件である。推定感染地は国内5件、不明1件、推定感染経路は性的接触5件(同性間3件、異性間1件、性別不明1件)、不明1件であった。

梅毒 6件 早期顕症梅毒Ⅱ期3件、無症候3件。全て推定感染地は国内、推定感染経路は性的接触(同性間)であった。

麻しん 1件 修飾麻しん(検査診断例)。年齢は30歳代で、麻しん含有ワクチン接種歴は1回であった。

定点把握対象疾患 報告数 2011年7週

定点種別	対象疾患	2011年					報告医療機関数	定点医療機関数
		4週	5週	6週	7週	(定点当たり)		
小児科	RSウイルス感染症	96	75	55	57	0.22	260	264
	咽頭結膜熱	84	73	93	85	0.33		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	602	642	550	650	2.50		
	感染性胃腸炎	2,953	2,747	2,751	2,735	10.52		
	水痘	307	305	311	301	1.16		
	手足口病	8	24	16	15	0.06		
	伝染性紅斑	205	115	96	116	0.45		
	突発性発しん	137	125	107	150	0.58		
	百日咳	20	11	8	11	0.04		
	ヘルパンギーナ	5	2	2	1	0.00		
	流行性耳下腺炎	91	76	57	72	0.28		
	不明発しん症(注1)	15	16	13	22	0.08		
川崎病(注1)	5	2	2	2	0.01			
インフルエンザ	インフルエンザ(注2)	13,378	11,773	8,510	6,758	16.28	415	419
眼科	急性出血性結膜炎	0	0	2	0	0.00	37	39
	流行性角結膜炎	6	13	11	12	0.32		
基幹	細菌性髄膜炎(注3)	1	0	0	1	0.04	24	25
	無菌性髄膜炎	0	1	1	1	0.04		
	マイコプラズマ肺炎	11	14	14	14	0.58		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	1	0	1	0.04		
2011/2/23集計								

(注1) 不明発しん症、川崎病は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 鳥インフルエンザを除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

(定点把握対象疾患のコメント)

- ・感染性胃腸炎の定点当たり報告数は微増した。過去5年平均の同時期と比較して多い。
- ・インフルエンザの定点当たり報告数は減少した。しかし現在は警報が出ている状況であり、注意が必要である。
- ・マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は微減した。しかし過去5年平均の同時期と比較して多い。

(定点医療機関からのコメント)

台東保健所管内定点医療機関

- ・感染性胃腸炎:胃腸炎が急速に増えました。

大田区保健所管内定点医療機関

- ・感染性胃腸炎:相変わらず、急性胃腸炎が流行っています。

世田谷区保健所管内定点医療機関

- ・眼の症状がないアデノウイルスが、迅速検査キットで陽性3人(報告対象外)。
- ・アデノウイルス感染症1歳児1人(報告対象外)。

中野区保健所管内定点医療機関

- ・RSウイルス感染症:0歳児(月齢1ヶ月)、転院。

荒川区保健所管内定点医療機関

- ・感染性胃腸炎:ロタウイルス、ノロウイルス検出。
- ・感染性胃腸炎:便培養の結果、カンピロバクター属菌(2例)、病原性大腸菌O1(1例)、O18(2例)、O25(1例)が検出された。
- ・発熱患者よりアデノウイルス(1例)が検出された(報告対象外)。
- ・不明発しん症:多形紅斑がみられた。

板橋区保健所管内定点医療機関

- ・感染性胃腸炎:便培養の結果、病原性大腸菌O1(1例)、O15(1例)、O74(1例)、カンピロバクター(1例)、ロタ(2例)が検出された。

※ インフルエンザの迅速診断結果及びコメントは13頁にまとめて記載しました。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2011年7週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～5か月	20			20	7			4		
～11か月	15	1		152	14		3	66	3	
1歳	7	16	14	361	42	3	6	69		1
2歳	8	14	35	281	51	3	6	9		
3歳	3	30	44	214	36		12	1		
4歳	4	12	87	244	44	5	16	1	1	
5歳		5	108	215	33	1	17			
6歳		4	98	183	37	1	24		1	
7歳		1	68	169	12	1	12			
8歳			52	141	6		8			
9歳			43	107	2		2			
10～14歳		1	57	267	13		7		1	
15～19歳			8	50	1		1		1	
20～29歳		1	36	331	3	1	2		4	
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	57	85	650	2735	301	15	116	150	11	1
先週比	2	-8	100	-16	-10	-1	20	43	3	-1

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	不明発しん症	川崎病	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～5か月				22		1
～11か月		6	1	72		
1歳	2	9		196		
2歳	4	4	1	252		
3歳	11			329		1
4歳	13			552		
5歳	9	2		499		
6歳	7			610		
7歳	9			704		
8歳	10			512		
9歳	1			410		
10～14歳	3	1		1162		
15～19歳	1			161		
20～29歳	2			241		4
30～39歳				483		3
40～49歳				348		1
50～59歳				101		1
60～69歳				60		
70～79歳				33		1
80歳以上				11		
合計	72	22	2	6758		12
先週比	15	9		-1752	-2	1

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数

【年齢階級別】 2011年7週

	風しん	麻しん
0歳		
1歳		
2歳		
3歳		
4歳		
5歳		
6歳		
7歳		
8歳		
9歳		
10～14歳		
15～19歳		
20～29歳		
30～39歳		1
40～49歳		
50～59歳		
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合計	0	1

定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2011年7週

定点種別	小児科									
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田			1	16				1		
中央区		1	2	15	1	1		2		
みなと	7	8	14	35	10	2	1	5		
新宿区	2	1	11	37	5		3	3		
文京	1	2	5	18	2					
台東		1	15	69	12		1	2		
墨田区	5	1	5	21	9			2		
江東区	1	3	23	218	8		2	8		1
品川区		2	11	74	17		5	2		
目黒区			4	15	3		2	2		
大田区	9	5	27	191	15	2	11	7		
世田谷	6		40	139	11	1	6	5	1	
渋谷区			4	26	2			1		
中野区	4	1	3	76	4		5	2		
杉並	1	1	6	95	5		7	2		
池袋	2		3	15				2		
北区			17	44	2		1	2		
荒川区	2	3	20	74	4		3	4	3	
板橋区	1	7	7	70	7		11	7	2	
練馬区		5	63	82	16	2	9	8	1	
足立		4	31	143	13		2	10	3	
葛飾区		2	16	105	6	1	3	4		
江戸川		3	62	187	11		10	15		
八王子市	4	9	68	201	29	2	9	10		
西多摩		2	4	67	13		1	3	1	
南多摩	1	5	16	130	7	1	2	6		
町田	2		50	155	25	1		7		
多摩立川	2	5	19	107	15	2	3	7		
多摩府中	2	9	34	169	25		8	11		
多摩小平	5	5	69	141	22		11	10		
島しょ					2					

東京都合計	57	85	650	2,735	301	15	116	150	11	1
-------	----	----	-----	-------	-----	----	-----	-----	----	---

全数把握対象疾患
(風しん、麻しん)報告数

【保健所別】2011年7週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	川崎病	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田				19		
中央区				54		
みなと	2	1		124		
新宿区				77		2
文京				98		
台東	2			85		
墨田区	2			90		
江東区	2	2		255		
品川区	1			121		
目黒区				39		1
大田区	3	3		282		1
世田谷	9			386		1
渋谷区				55		1
中野区		1		91		
杉並	1	1		242		
池袋				87		1
北区	1			111		1
荒川区	1	1		144		
板橋区	5	1		99		1
練馬区	4	3	1	405		
足立				283		
葛飾区	3			222		1
江戸川	2		1	474		
八王子市	4			555		2
西多摩	3			194		
南多摩	4	1		257		
町田	2	4		427		
多摩立川	6	2		332		
多摩府中	11	1		673		
多摩小平	4	1		438		
島しょ				39		

	風しん	麻しん
千代田		
中央区		
みなと		
新宿区		
文京		1
台東		
墨田区		
江東区		
品川区		
目黒区		
大田区		
世田谷		
渋谷区		
中野区		
杉並		
池袋		
北区		
荒川区		
板橋区		
練馬区		
足立		
葛飾区		
江戸川		
八王子市		
西多摩		
南多摩		
町田		
多摩立川		
多摩府中		
多摩小平		
島しょ		

東京都合計	72	22	2	6,758	-	12
-------	----	----	---	-------	---	----

東京都合計	0	1
-------	---	---

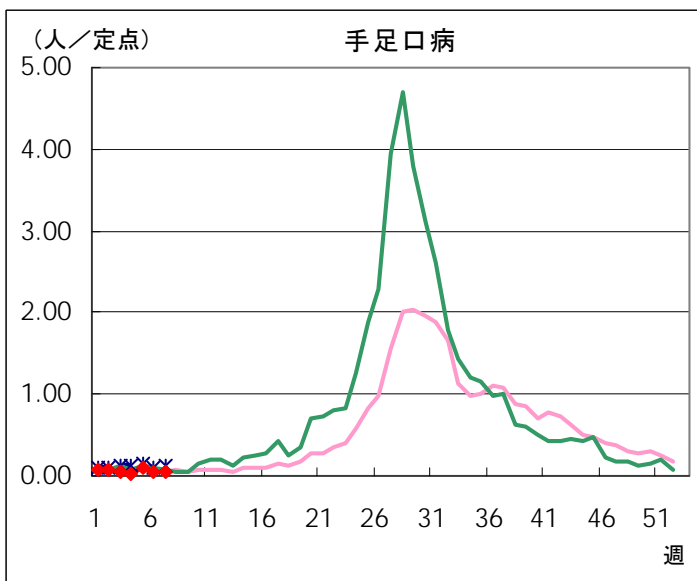
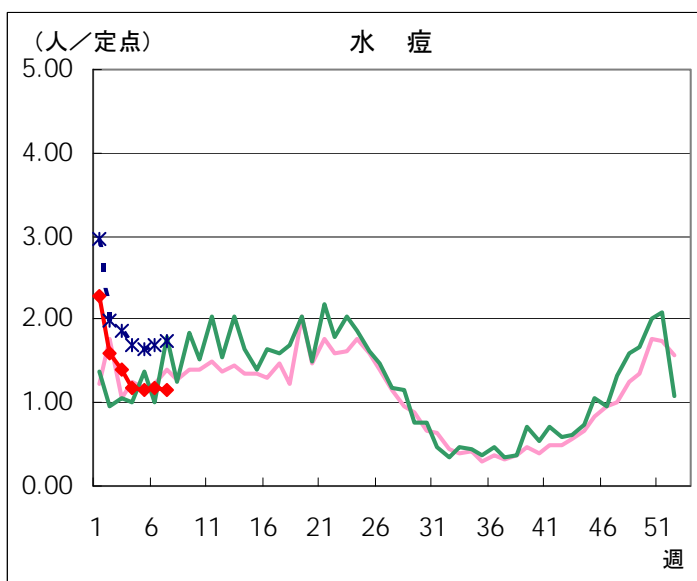
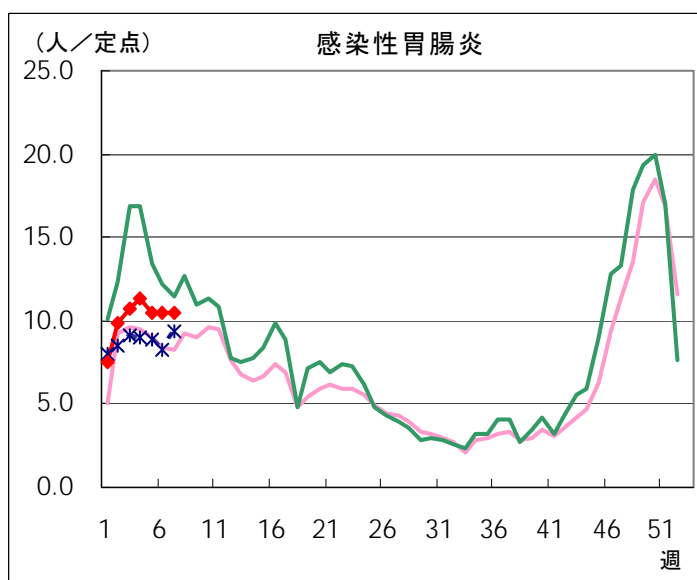
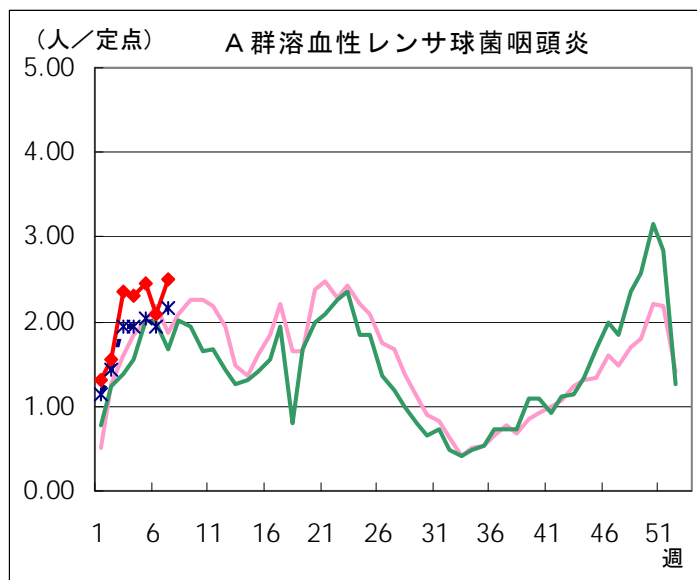
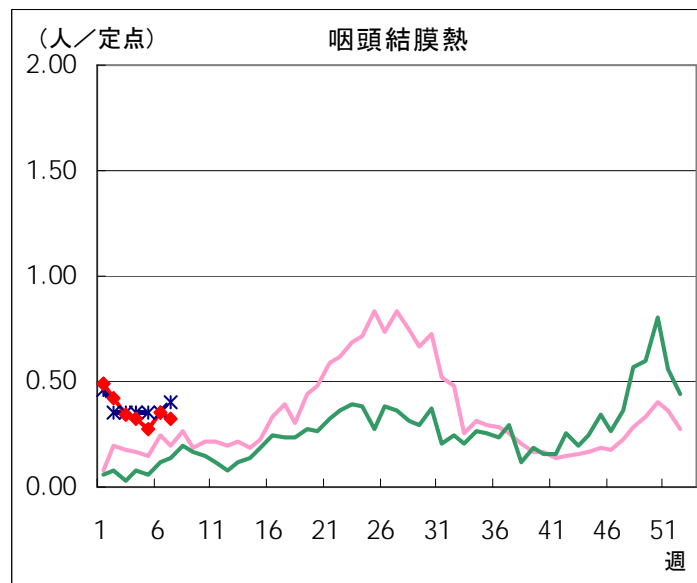
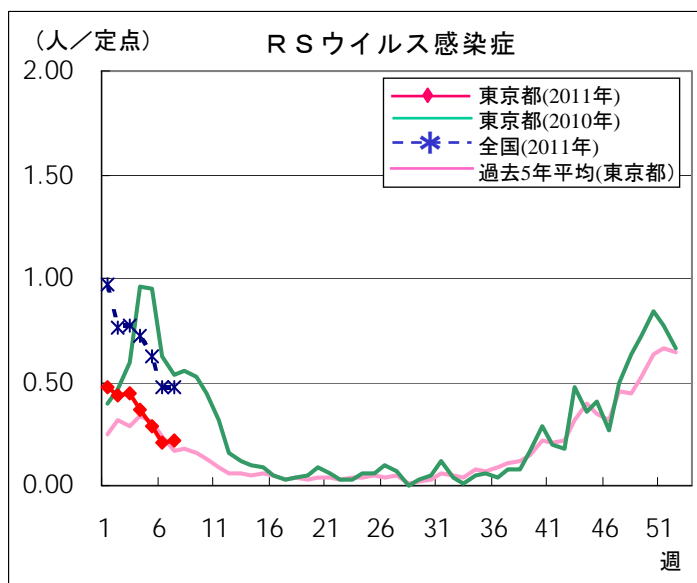
定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2011年7週

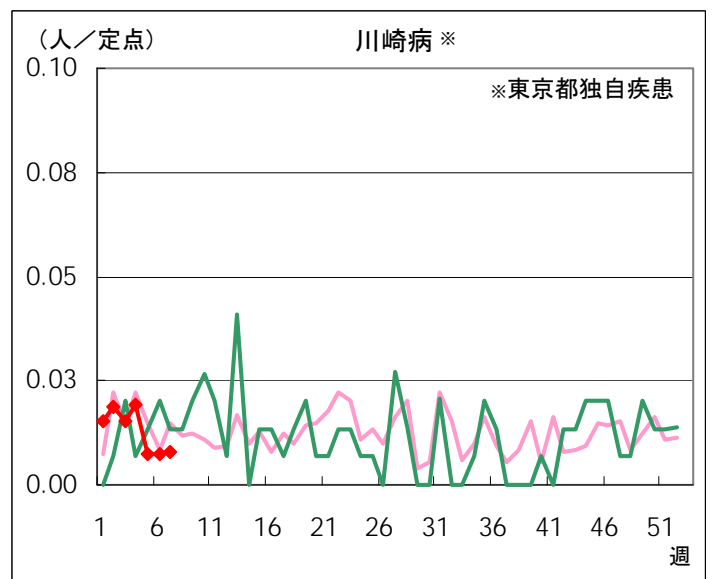
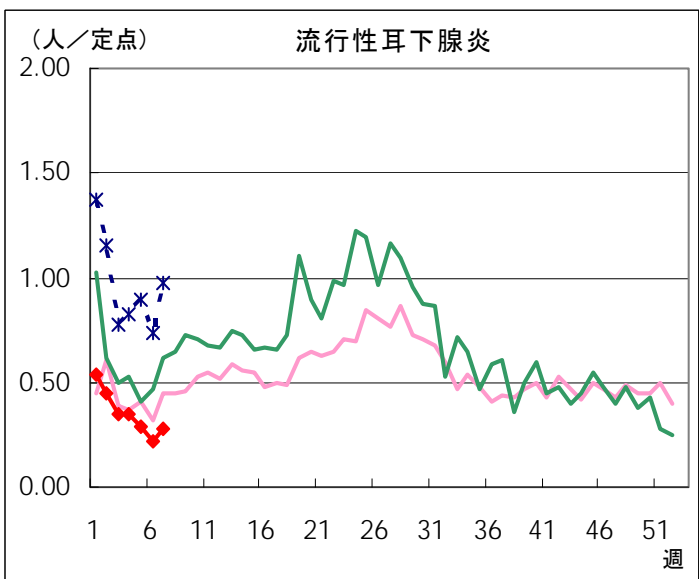
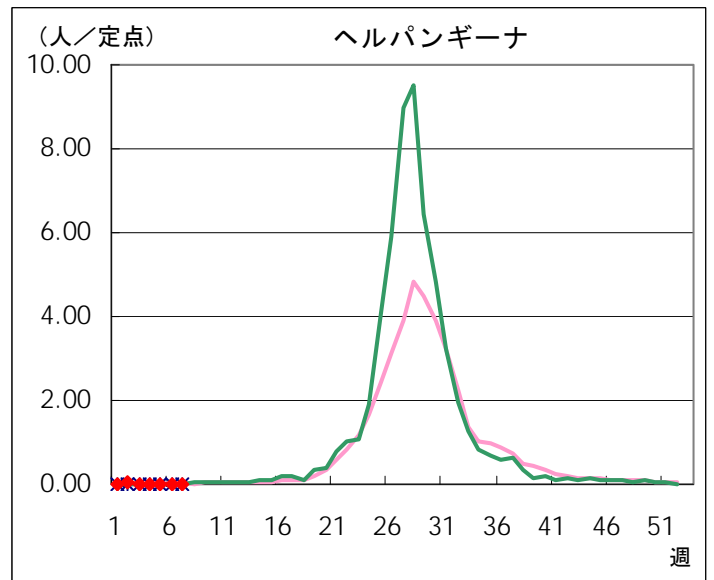
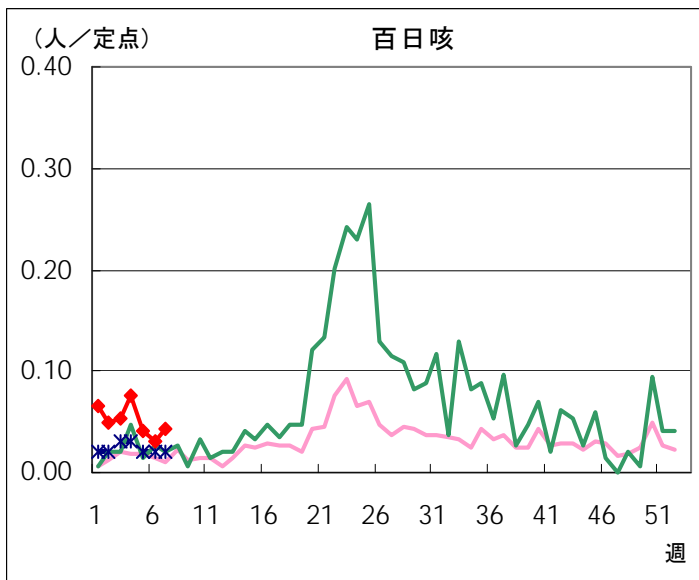
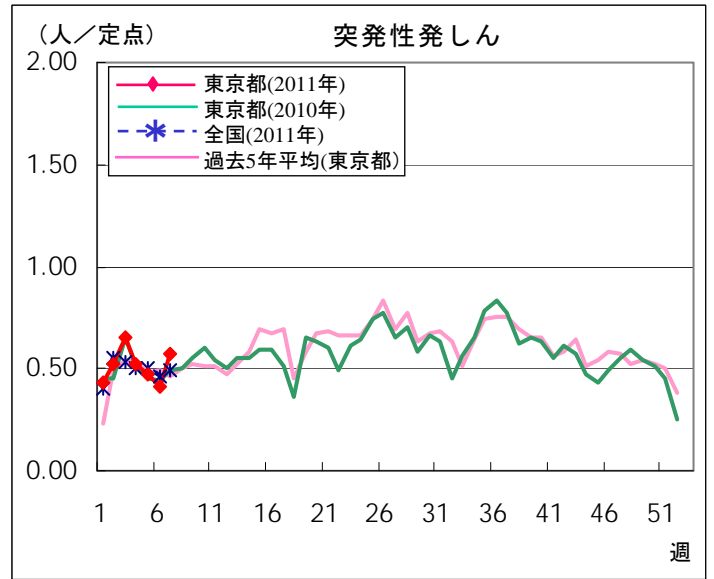
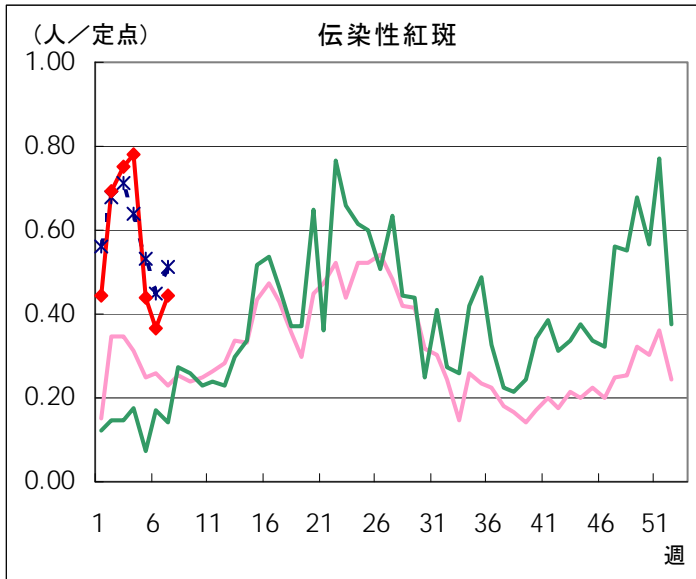
定点種別	小児科									
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜炎	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田			0.33	5.33				0.33		
中央区		0.33	0.67	5.00	0.33	0.33		0.67		
みなと	1.17	1.33	2.33	5.83	1.67	0.33	0.17	0.83		
新宿区	0.25	0.13	1.38	4.63	0.63		0.38	0.38		
文京	0.25	0.50	1.25	4.50	0.50					
台東		0.25	3.75	17.25	3.00		0.25	0.50		
墨田区	1.00	0.20	1.00	4.20	1.80			0.40		
江東区	0.11	0.33	2.56	24.22	0.89		0.22	0.89		0.11
品川区		0.25	1.38	9.25	2.13		0.63	0.25		
目黒区			0.80	3.00	0.60		0.40	0.40		
大田区	0.69	0.38	2.08	14.69	1.15	0.15	0.85	0.54		
世田谷	0.38		2.50	8.69	0.69	0.06	0.38	0.31	0.06	
渋谷区			1.00	6.50	0.50			0.25		
中野区	0.57	0.14	0.43	10.86	0.57		0.71	0.29		
杉並	0.10	0.10	0.60	9.50	0.50		0.70	0.20		
池袋	0.40		0.60	3.00				0.40		
北区			2.43	6.29	0.29		0.14	0.29		
荒川区	0.50	0.75	5.00	18.50	1.00		0.75	1.00	0.75	
板橋区	0.10	0.70	0.70	7.00	0.70		1.10	0.70	0.20	
練馬区		0.38	4.85	6.31	1.23	0.15	0.69	0.62	0.08	
足立		0.31	2.38	11.00	1.00		0.15	0.77	0.23	
葛飾区		0.25	2.00	13.13	0.75	0.13	0.38	0.50		
江戸川		0.25	5.17	15.58	0.92		0.83	1.25		
八王子市	0.36	0.82	6.18	18.27	2.64	0.18	0.82	0.91		
西多摩		0.25	0.50	8.38	1.63		0.13	0.38	0.13	
南多摩	0.11	0.56	1.78	14.44	0.78	0.11	0.22	0.67		
町田	0.25		6.25	19.38	3.13	0.13		0.88		
多摩立川	0.14	0.36	1.36	7.64	1.07	0.14	0.21	0.50		
多摩府中	0.12	0.53	2.00	9.94	1.47		0.47	0.65		
多摩小平	0.33	0.33	4.60	9.40	1.47		0.73	0.67		
島しょ					2.00					
東京都	0.22	0.33	2.50	10.52	1.16	0.06	0.45	0.58	0.04	0.00

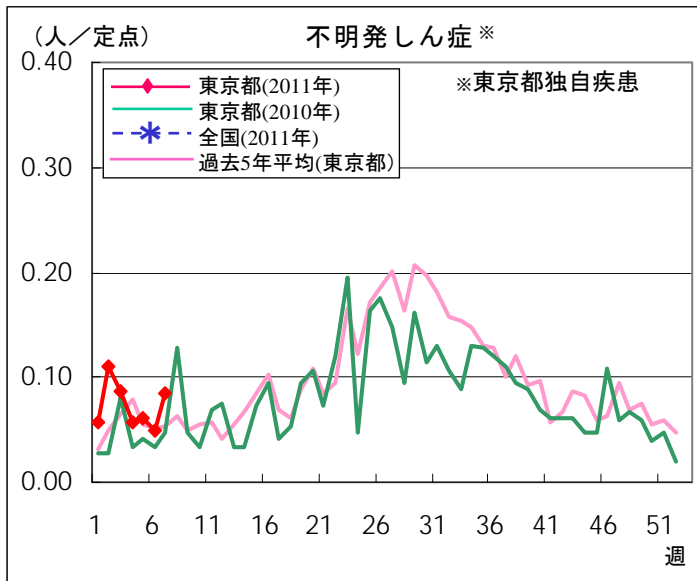
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	川崎病	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田				4.75		
中央区				10.80		
みなと	0.33	0.17		13.78		
新宿区				6.42		2.00
文京				14.00		
台東	0.50			12.14		
墨田区	0.40			11.25		
江東区	0.22	0.22		18.21		
品川区	0.13			10.08		
目黒区				4.88		1.00
大田区	0.23	0.23		13.43		0.50
世田谷	0.56			15.44		0.50
渋谷区				7.86		
中野区		0.14		8.27		
杉並	0.10	0.10		15.13		
池袋				10.88		
北区	0.14			10.09		1.00
荒川区	0.25	0.25		20.57		
板橋区	0.50	0.10		6.19		0.50
練馬区	0.31	0.23	0.08	19.29		
足立				14.15		
葛飾区	0.38			17.08		1.00
江戸川	0.17		0.08	24.95		
八王子市	0.36			30.83		1.00
西多摩	0.38			13.86		
南多摩	0.44	0.11		18.36		
町田	0.25	0.50		32.85		
多摩立川	0.43	0.14		15.81		
多摩府中	0.65	0.06		23.21		
多摩小平	0.27	0.07		19.04		
島しょ				19.50		
東京都	0.28	0.08	0.01	16.28	-	0.32

定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2011年7週現在

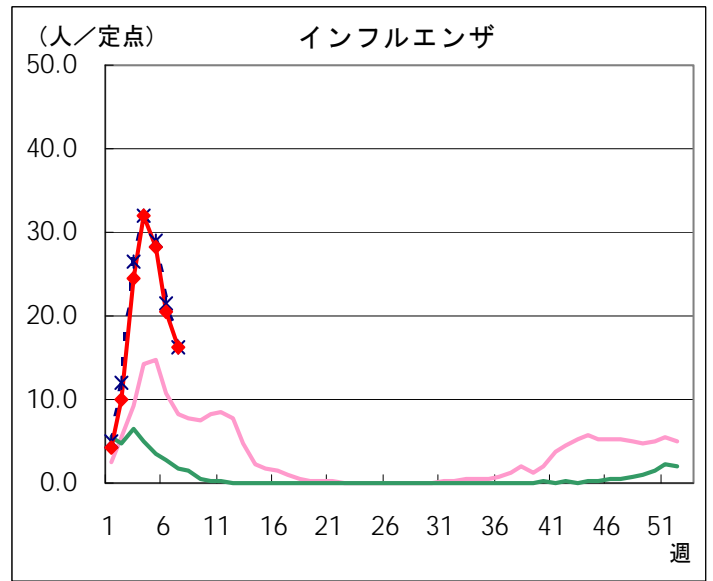
◆ 小児科定点



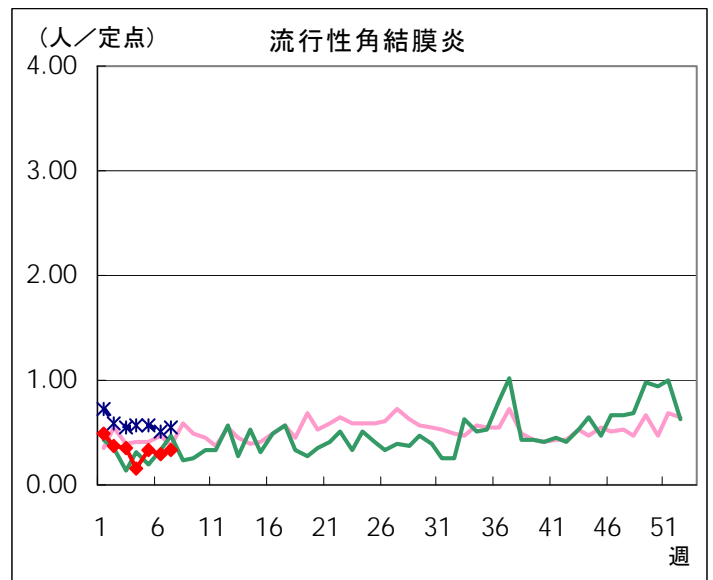
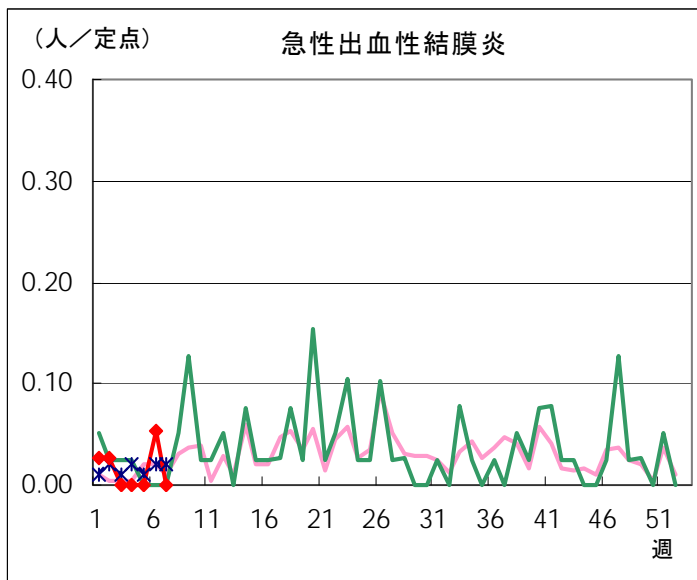




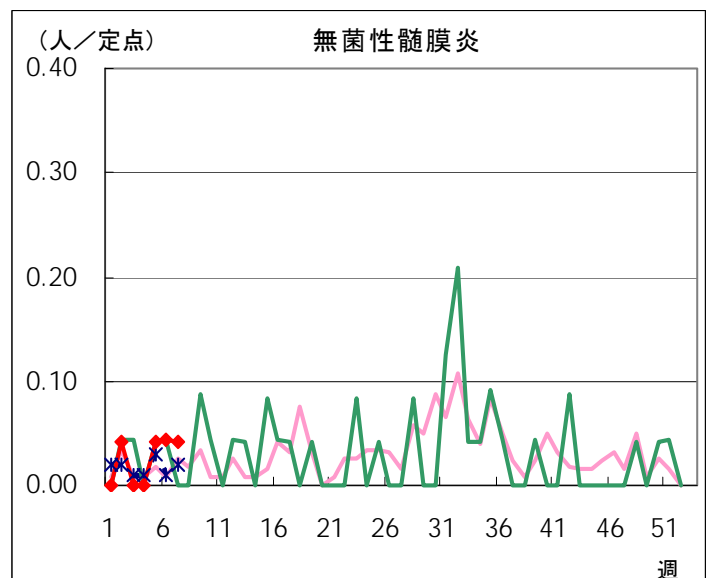
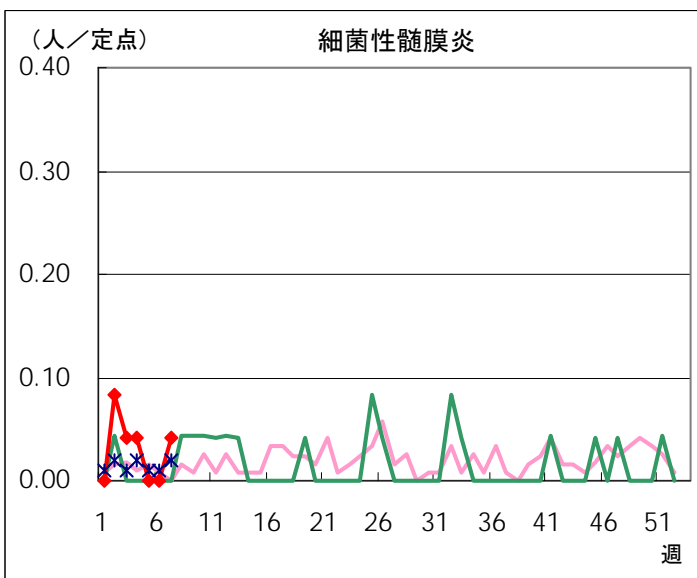
◆ インフルエンザ定点

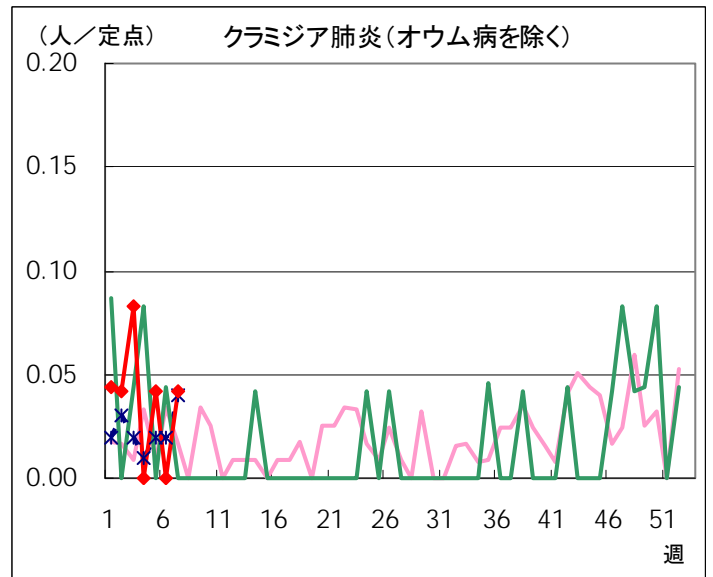
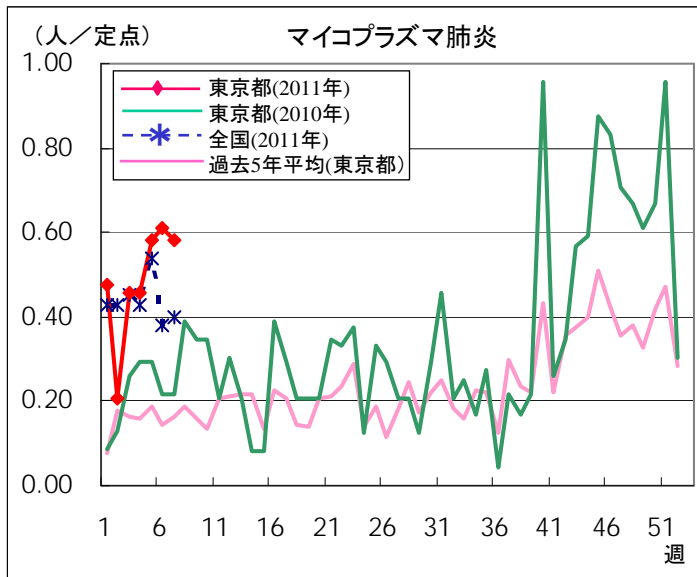


◆ 眼科定点

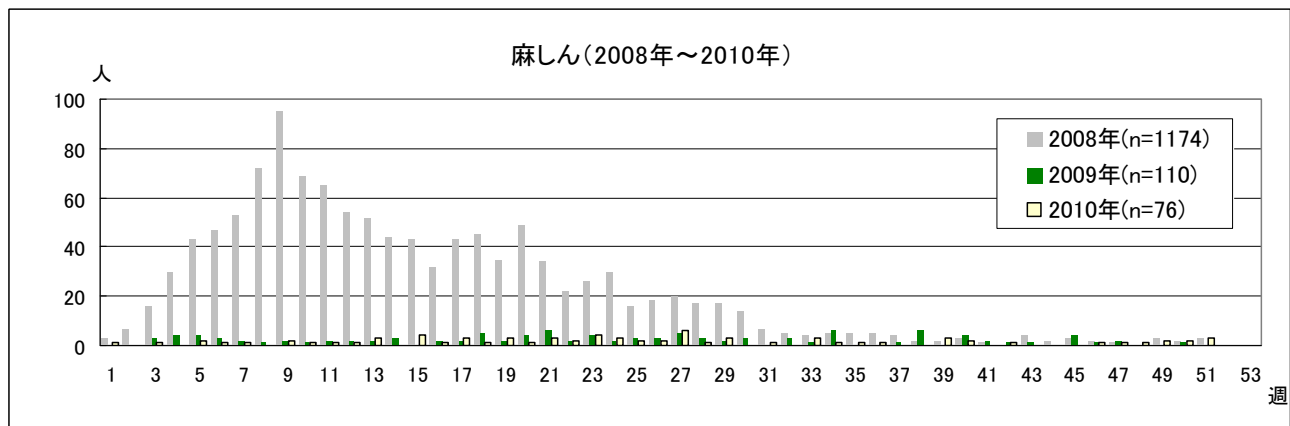
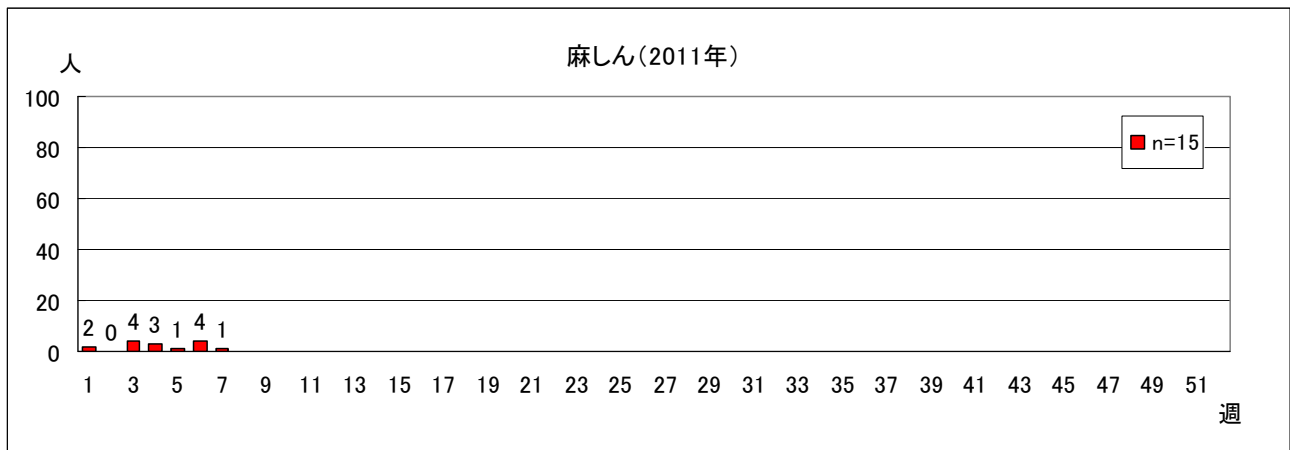


◆ 基幹定点





全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2011年7週現在



定点医療機関からのインフルエンザに関するコメント

各定点医療機関からいただきました、インフルエンザ迅速診断結果とコメントを下表にまとめました。

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		医療機関数*	備 考 (カッコ内は型記載なし)
	A	B		
新宿区	7		2	(8)
文京		13	2	(16)
台東	42	19	6	(21)
江東区	92	70	10	(38)
品川区	19	29	6	(44)
目黒区	15	5	5	(12)
大田区	52	22	9	(5)
世田谷	29	13	9	(64)、A・B同時陽性 1名
中野区	67	22	11	A・B同時陽性 1名、臨床診断 1名
池袋	17	7	3	(6)
北区	55	4	6	(16)
荒川区	68	33	4	
板橋区	3	9	1	
足立	46	4	3	(4)
西多摩	34	5	7	(41)
南多摩	105	50	10	(63)
町田	103	25	7	(124)
多摩立川	92	17	7	(46)
多摩府中	93	74	9	(4)、臨床診断 2名
多摩小平	66	104	13	(92)
島しょ	34	3	1	
合 計	1,039	528	131	

* 迅速診断結果をご報告いただいた医療機関数

- コメント
- ・ B型が増加。まだおさまってきているとは言えない状況。
 - ・ インフルエンザもそろそろ終盤をむかえているようです。
 - ・ 迅速陽性者の発熱は、36℃台 4名、37℃台 2名、38℃台 2名。

定点(病原体)医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

*原則として検体採取日の順に掲載しています。

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
2/4	脳炎	1	髄液	ヒトヘルペスウイルス 7型	遺伝子
2/7	伝染性紅斑	2	咽頭拭い液	パルボウイルス	
2/9	百日咳	6	咽頭拭い液	百日咳菌	
2/7	無菌性髄膜炎	8	咽頭拭い液	エンテロウイルス	

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型

検出件数	インフルエンザウイルス			
	AH1型	AH3型	B型	AH1pdm(新型*)
6週	0	5	2	8
2010-2011年 シーズン累計**	0	111	20	172

* : 新型インフルエンザ(pandemic H1N1 2009)

** : 2010-2011シーズンの開始は第36週(2010年9月6日～9月12日)

病原体検査情報【検出病原体別・週別】

検出病原体		2010年 - 2011年							
		51週	52週	1週	2週	3週	4週	5週	6週
ウイルス	アデノウイルス	2		2	6	1	1	3	
	ライノウイルス	5	1	2	2		1	2	
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群								
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71								
	その他のエンテロウイルス	2	1	1	5	5	1		1
	単純ヘルペスウイルス			1			1		
	水痘・帯状疱疹ウイルス								
	ヘルペスウイルス6/7	1	1	2	4	5	6	2	1
	EBウイルス			1	2		1		
	サイトメガロウイルス					1	1		
	ムンプスウイルス	1	1		1	1			
	麻疹ウイルス				1				
	風疹ウイルス								
	パルボウイルスB19	1					3	3	1
	RSウイルス	5		10		7	5	3	
	ノロウイルス	2			2	1	2		
	ロタウイルス								
インフルエンザウイルスAH1									
インフルエンザウイルスAH3	11	4	11	7	12	12	11	5	
インフルエンザウイルスB	1	1		1	1	6	5	2	
新型インフルエンザウイルスAH1pdm	7	7	17	34	30	13	33	8	
デングウイルス(抗体を含む)									
その他のウイルス									
細菌	カンピロバクター								
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌								
	溶血性レンサ球菌					9			
	百日咳						2		1
	マイコプラズマ				1				
	その他の細菌				1			1	
その他の病原体									

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2010年51週～2011年6週

臨床診断名 検出病原体	インフル エンザ	上 気 道 炎	下 気 道 炎	感 染 性 胃 腸 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 連 菌 咽 頭 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	ヘル パン ギー ナ	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	不 明 発 し ん 症	流 行 性 耳 下 腺 炎	水 痘	麻 し ん	風 し ん	そ の 他	
搬入検体数	254	26	61	19	19	1		2		1	5	18	7	2			112	
ウ イ ル ス	アデノウイルス	3	2	4	2		1	1				1					1	
	ライノウイルス	5	3		1							1					3	
	ポリオウイルス																	
	コクサッキーウイルスA群																	
	コクサッキーウイルスB群																	
	エコーウイルス																	
	エンテロウイルス71																	
	その他のエンテロウイルス			3	2	3				1		3						4
	単純ヘルペスウイルス		1															1
	水痘・帯状疱疹ウイルス																	
	ヘルペスウイルス6/7		1			1					1	6						13
	EBウイルス												2					2
	サイトメガロウイルス											1						1
	ムンプスウイルス												4					
	麻疹ウイルス											1						
	風しんウイルス																	
	パルボウイルスB19											5	2					1
	RSウイルス		5	22														3
	ノロウイルス				7													
	ロタウイルス																	
インフルエンザウイルスAH1																		
インフルエンザウイルスAH3	70		2									1						
インフルエンザウイルスB	14		1														2	
新型インフルエンザウイルスAH1pdm	148											1						
デングウイルス(抗体を含む)																		
その他のウイルス																		
細 菌	カンピロバクター																	
	サルモネラ																	
	腸管出血性大腸菌																	
	その他の腸管系病原菌																	
	溶血性レンサ球菌		9															
	百日咳			3														
	マイコプラズマ			1														
	その他の細菌			2														
その他の病原体																		

月報告 定点把握対象疾患 報告数 2011年1月

定点種別	対象疾患	性別	報告数	定点当たり 報告数	報告医療 機関数	定点医療 機関数
性 感 染 症	性器クラミジア感染症	男	105	1.91	55	55
		女	80	1.45		
	性器ヘルペスウイルス 感染症	男	79	1.44		
		女	25	0.45		
	尖圭コンジローマ	男	59	1.07		
		女	14	0.25		
	淋菌感染症	男	98	1.78		
		女	16	0.29		
	膺トリコモナス症*	男	0	0.00		
		女	10	0.18		
梅毒様疾患	男	4	0.07			
	女	1	0.02			
基 幹	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	男	49	2.04	24	25
		女	33	1.38		
	ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	男	34	1.42		
		女	18	0.75		
	薬剤耐性 緑膿菌感染症	男	0	0.00		
		女	4	0.17		

2011/2/23

* 性感染症定点から報告される『膺トリコモナス症』とは、原虫の一種である膺トリコモナス(Trichomonas vaginalis)による疾患を指し、女性の膺、男性の尿道、前立腺などの生殖器や泌尿器に寄生して引き起こされる感染症である。ヒトに寄生するトリコモナスには、他に口腔トリコモナスや腸トリコモナスがある。

月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数【年齢階級別】2011年1月

男						
年齢階級	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳	1	1	1			
20～24歳	10	2	6	8		1
25～29歳	21	11	8	18		2
30～34歳	23	23	16	26		
35～39歳	21	12	7	14		1
40～44歳	11	8	8	11		
45～49歳	10	6	5	8		
50～54歳	3	9	2	7		
55～59歳	3	3	3	2		
60～64歳		3	1	2		
65～69歳		1	1	1		
70歳～	2		1	1		
合計	105	79	59	98		4
先月数	108	56	39	78		8
増減数	-3	23	20	20		-4

女						
年齢階級	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳	11	2		2		
20～24歳	21	6	3	7	1	
25～29歳	19	2	4	4	3	1
30～34歳	13	3	3	3	1	
35～39歳	7	5	3		2	
40～44歳	3	4				
45～49歳	2	2			1	
50～54歳	3	1	1			
55～59歳	1				1	
60～64歳						
65～69歳						
70歳～					1	
合計	80	25	14	16	10	1
先月数	80	35	20	11	10	1
増減数		-10	-6	5		

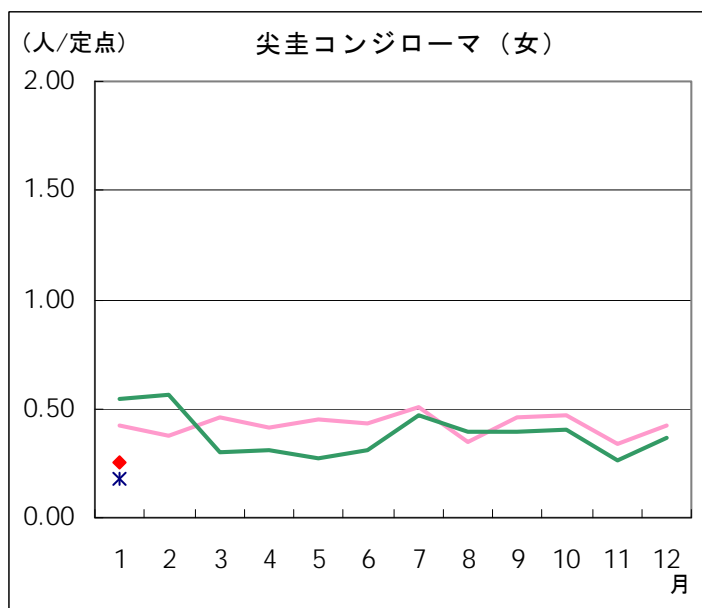
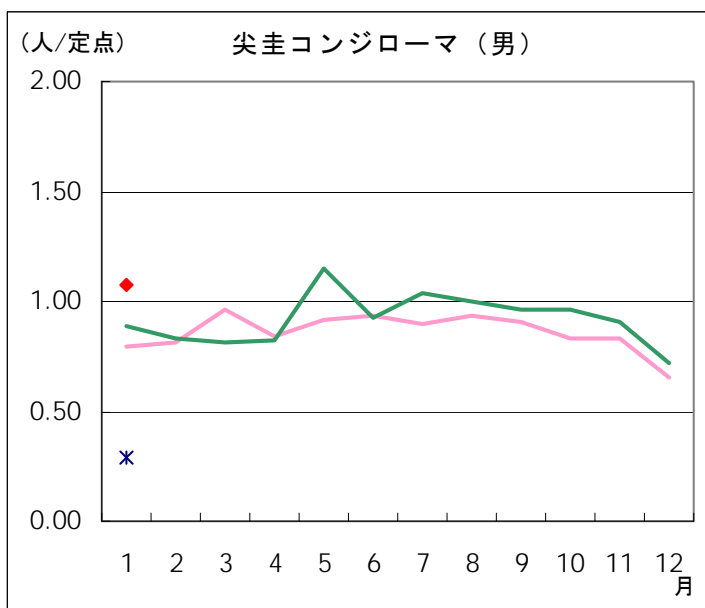
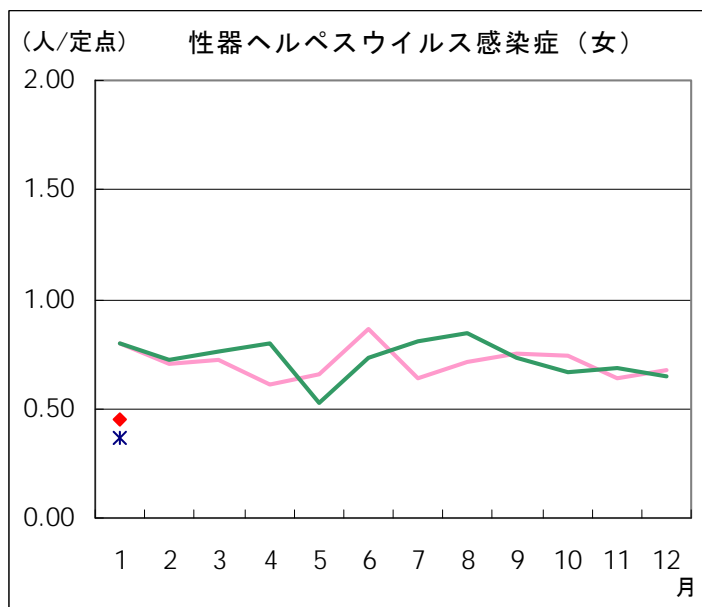
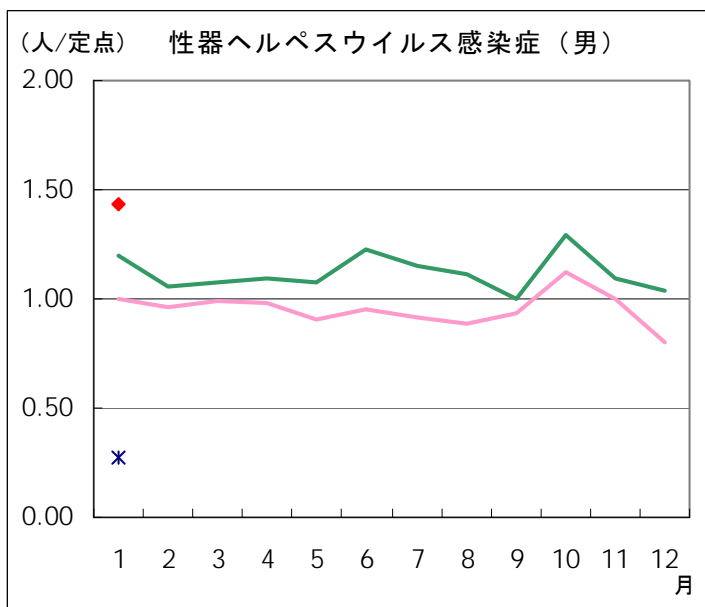
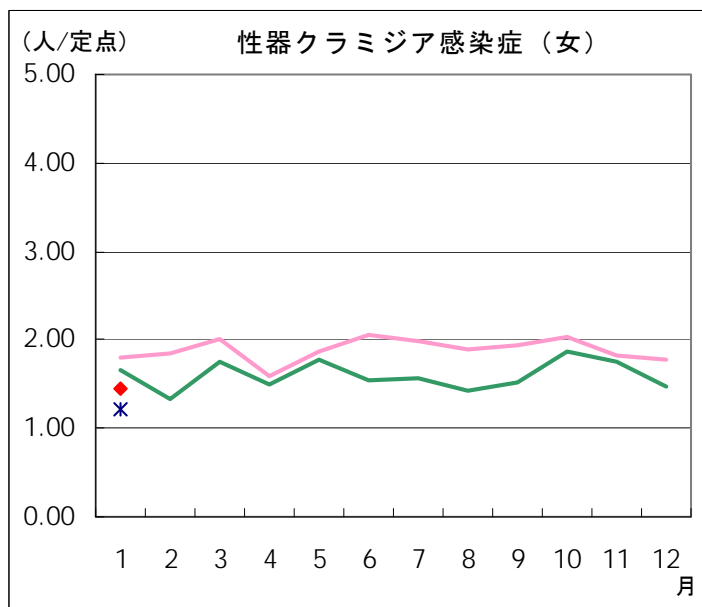
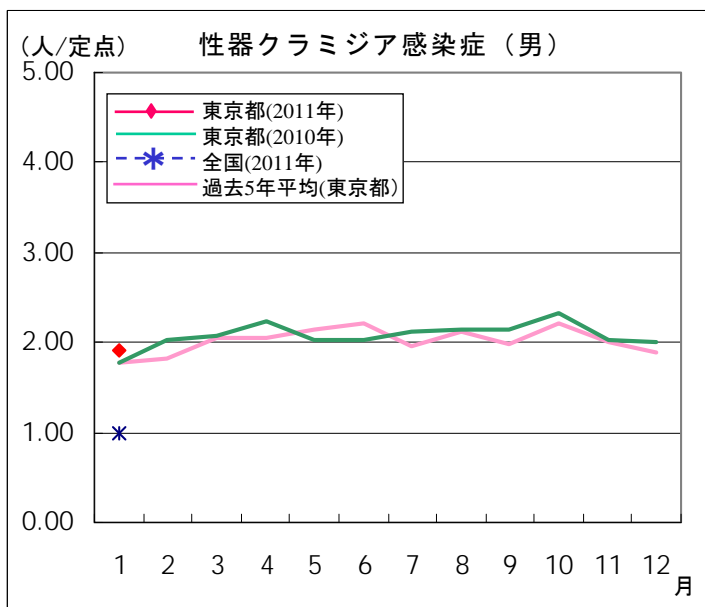
月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数【保健所別】 2011年1月

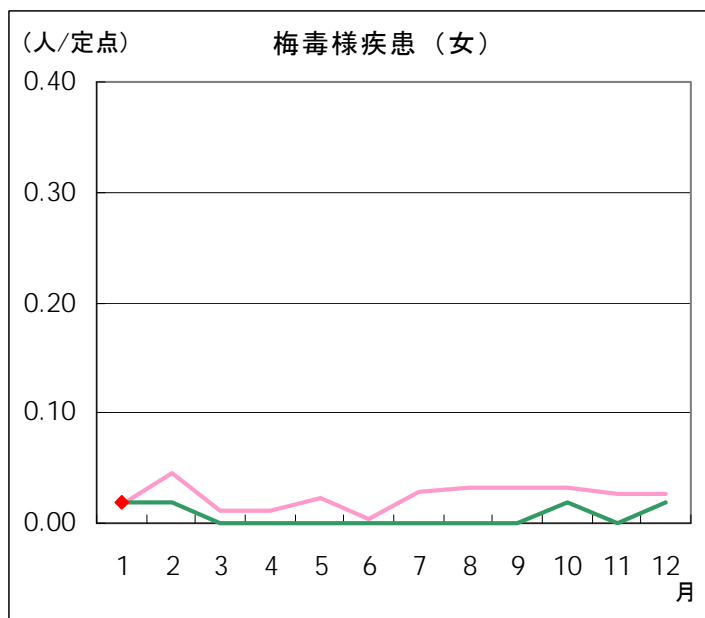
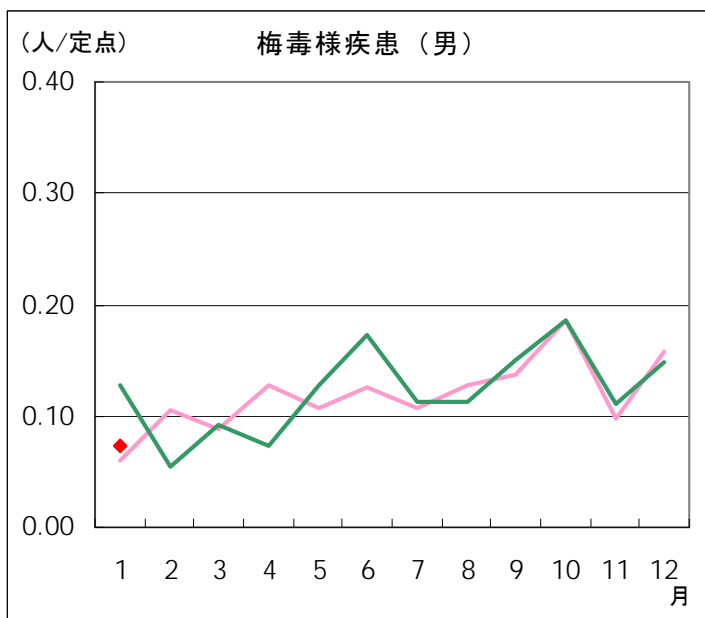
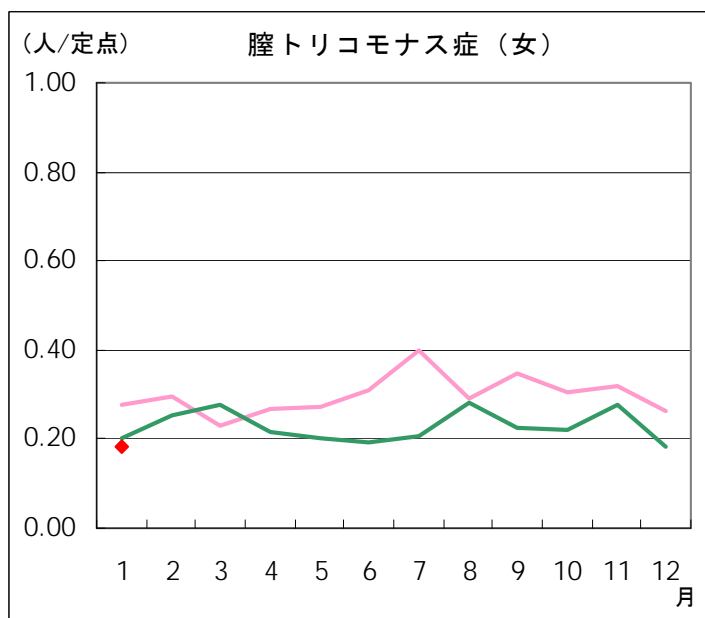
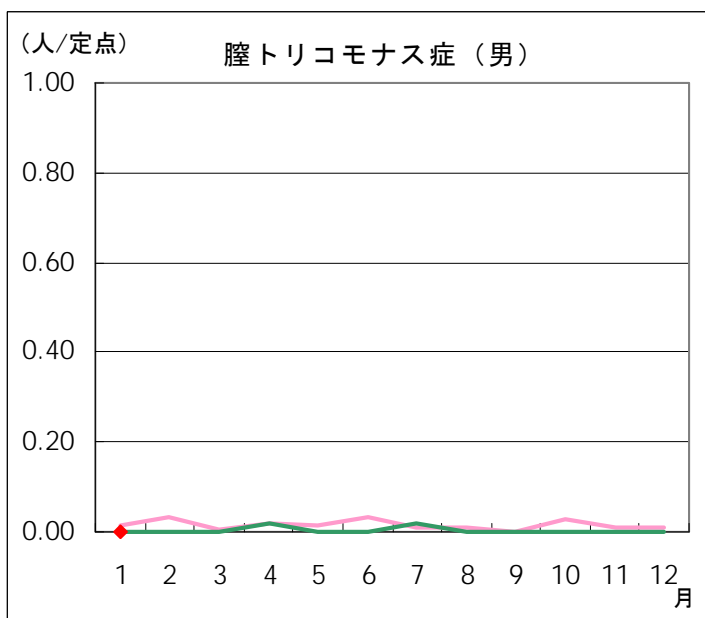
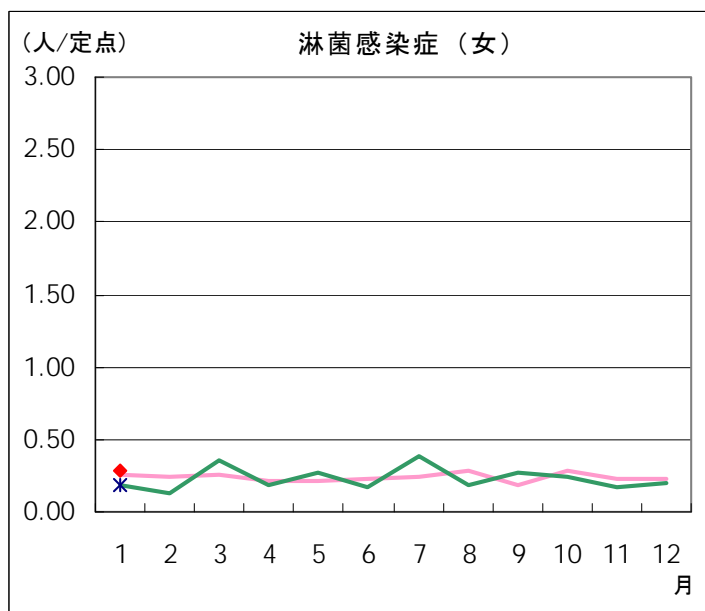
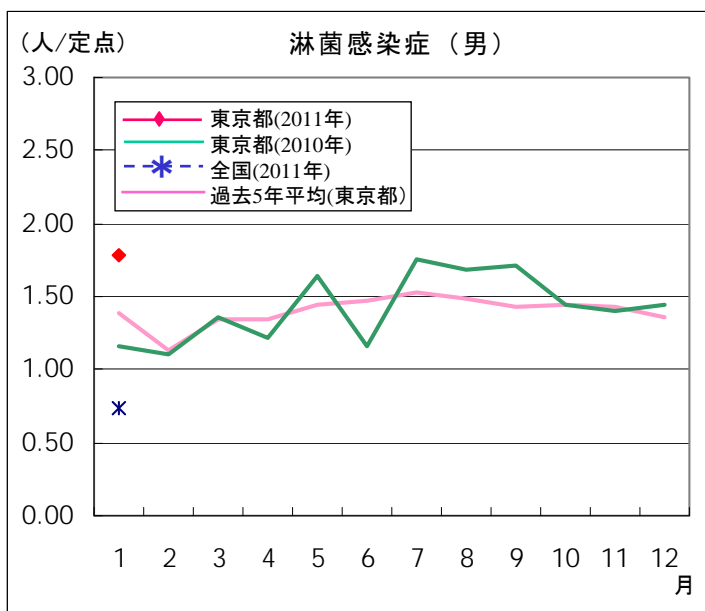
男							
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
千代田	2	7	4	1	13		1
中央区	3	11	3	2	2		
みなと	2	6	29	15	5		
新宿区	7	32	23	28	38		1
文京	1	7	2	1	3		
台東	2						
墨田区	2		2	1	1		
江東区	2	8	3	1	13		
品川区	1	1					
大田区	2	1					
渋谷区	5	4	3	1	3		
中野区	2	5			3		
杉並	2	1			2		
池袋	3	12	6	5	6		
北区	1			3			
荒川区	1						
板橋区	2	3	2		4		
足立	2	3	2		1		
江戸川	2	2		1	2		2
八王子市	4						
町田	1						
多摩立川	2	1					
多摩府中	3	1			2		
多摩小平	1						
合 計	55	105	79	59	98		4
定点当たり		1.91	1.44	1.07	1.78		0.07

女							
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
千代田	2	1			1		
中央区	3	2	2	1		1	
みなと	2	6	1			1	
新宿区	7	6	7	6	7	1	
文京	1						
台東	2	3	1			2	
墨田区	2	2	1	1			
江東区	2	3					
品川区	1						
大田区	2	6					
渋谷区	5	4	5	1	1		
中野区	2	2		1		1	
杉並	2	1					
池袋	3	6			4		
北区	1						
荒川区	1						
板橋区	2	1	1		1		
足立	2						
江戸川	2	9	2				1
八王子市	4	10	2		1	1	
町田	1	3				1	
多摩立川	2	15	3	4	1	2	
多摩府中	3						
多摩小平	1						
合 計	55	80	25	14	16	10	1
定点当たり		1.45	0.45	0.25	0.29	0.18	0.02

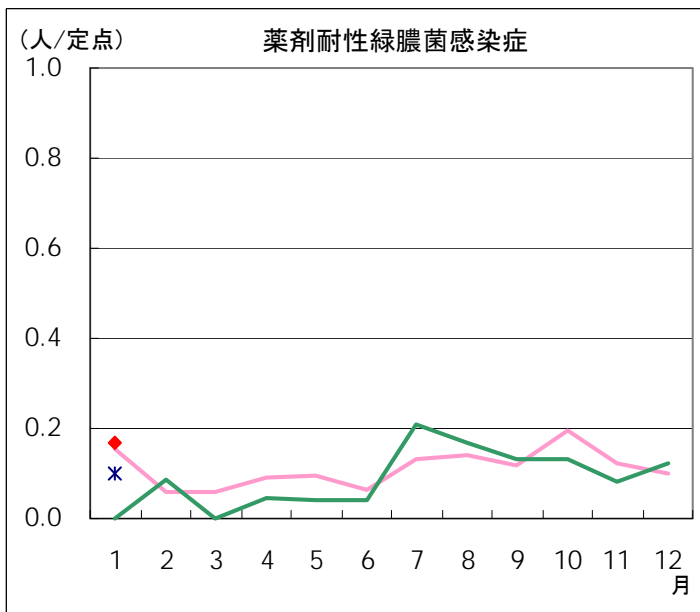
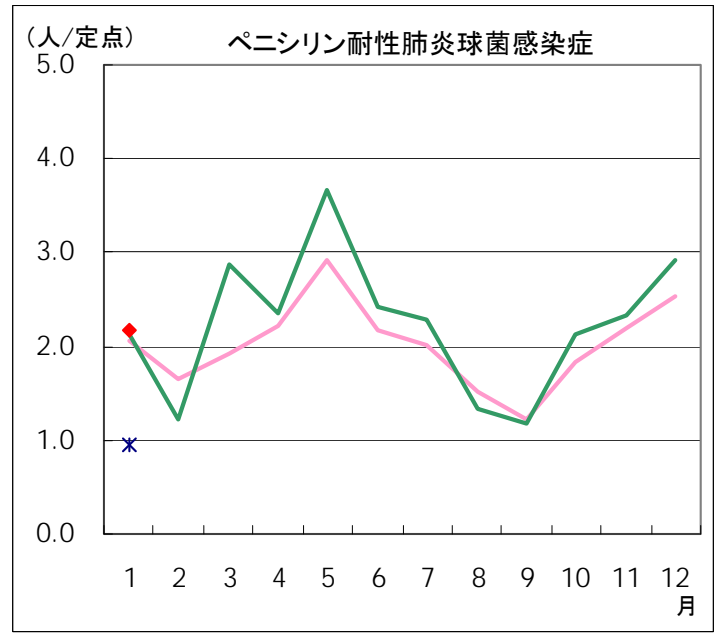
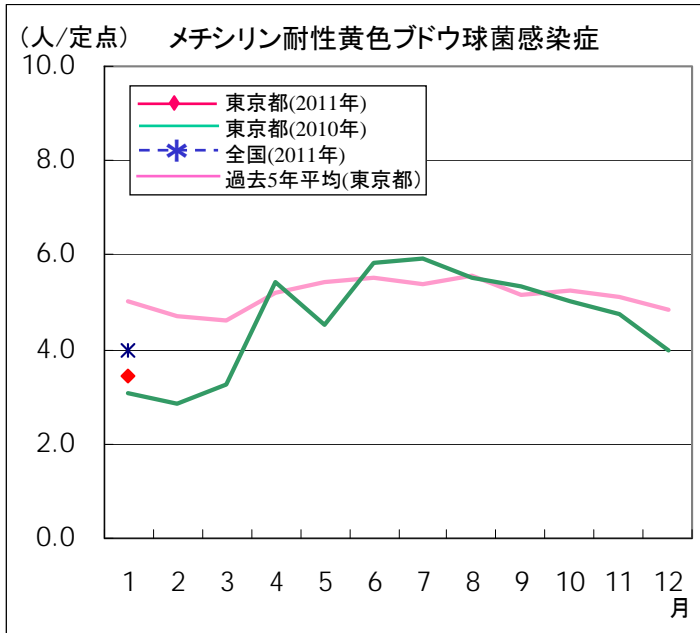
月報告 定点把握対象疾患報告数【月別発生状況】 2011年1月現在

◆ 性感染症定点





◆ 基幹定点



月報告 病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

*原則として検体受付日の順に掲載しています。

受付月日	臨床診断名	年齢	性別	検査試料	検出病原体	検査法
1/11	尿道炎	63	男	尿	淋菌	遺伝子 分離同定
1/13	尿道炎	39	男	尿	クラミジア	遺伝子
1/17	性器ヘルペス疑い	47	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス 2型	
1/17	淋菌性尿道炎	29	男	尿	淋菌	遺伝子 分離同定
1/18	尿道炎	33	男	尿	クラミジア	遺伝子
1/18	尿道炎	24	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	遺伝子 分離同定
1/20	尿道炎	38	男	尿	クラミジア	遺伝子
1/20	尿道炎	31	男	尿	クラミジア	
1/24	陰茎ヘルペス	30	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス 2型	
1/25	尿道炎	32	男	尿	クラミジア	
1/25	尿道炎	48	男	尿	クラミジア	
1/27	尿道炎	36	男	尿	<i>Candida albicans</i>	分離同定
1/31	陰茎コンジローマ	63	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒトパピローマウイルス 6型	遺伝子

<感染症豆知識>

抗インフルエンザ治療薬

2009年にAH1pdmインフルエンザが世界中で大流行したが、遺伝子学的にはほぼ同じで、また地域においても病原性が異なっていない中、日本の死亡者数は他国に比して少なく、妊婦においても重症者が出なかった最大の理由として、①国民皆保険制度ならびに ②早期からの抗インフルエンザ治療薬の適正投与があったと考えられると日本感染症学会 HP 「2010年の総括」に掲載されている。第2波が予想される2010～2011年を迎えた現在、新たな抗インフルエンザ治療薬がいくつか出ており、臨床医の治療の選択がさらに増え、リスクに応じた抗インフルエンザ治療薬の適正使用が今後課題となる。このことについて日本感染症学会提言 2010-1-025 「新規薬剤を含めた抗インフルエンザ薬の使用適用」が同HPに掲載されているのでぜひご覧いただきたい (http://www.kansensho.or.jp/influenza/100122soiv_teigen.html)。

その概要の一部を紹介する。現在使用可能な薬剤（商品名）は、従来の①タミフル（経口） ②リレンザ（吸入）に加え ③ラピアクタ（点滴静注） ④イナビル（吸入）のノイラミニダーゼ阻害薬の4種類である。2つの新薬の特徴は、①②と異なり単回投与で③は成人にはペラミビルとして300mgを15分以上かけて単回点滴静注、重症化する恐れのある場合は600mgと記載されており、症状に応じて反復投与可。④は成人に40mg単回吸入である。10歳未満には20mg単回吸入とされているが、②と異なり単回投与なので吸入指導ならびに適応年齢には注意が必要である。上記サイトでは、成人に対して重症度に応じた現段階の使用指針を提案している。A群：入院管理が必要とされている（A-1：重症で生命の危険がある患者、A-2：生命に危険は迫っていないが入院管理が必要とされている）、B群：外来治療が相当、のものと分けて現段階での適正使用を提案している。

（文責 沼口小児科 沼口俊介）